情報処理安全確保支援士特定講習　講習情報

大日本印刷株式会社

サイバー・インシデントレスポンス・マネジメントコース　実践演習

実施機関名	大日本印刷株式会社		
講習名	サイバー・インシデントレスポンス・マネジメントコース　実践演習		
特定講習番号	21-001-002		
講習形態	リモート形式又は集合形式	定員（１回あたり）	32 名
受講日数	4 日間	受講時間	32 時間
受講料	605,000（円/税込み）		

対象分野 <ITSS+（セキュリティ領域）>	主な分野	セキュリティ監視・運用	関連分野　デジタルプロダクト開発

講習内容	企業のネットワーク構成を模した環境の中で、実際にあったインシデントに基づく攻撃シナリオに対処し、実践的なスキルを身につけたい方に最適なコースになります。
具体的な到達目標	・仮想環境上で仕掛けられたサイバー攻撃にチームで連携して対処し、攻撃の検知・調査・分析・対処・封じ込めを行って攻撃の性質や再発防止策を報告する。 ・攻撃シナリオにあらかじめ設定された攻撃-対処のチェック項目に基づいて、進捗度が70%を超えることを目標とする。 ・知識や技術習得度は講師による総合的な判定を行う。
修得できるスキル	インシデントハンドリング、脆弱性対策、インシデントレスポンス、セキュリティ監視・検知、デジタルフォレンジック、マルウェア解析、脅威・脆弱性情報の収集・分析・活用
講習の理解・習得のために推奨される実務経験	セキュリティ担当者、またはIT分野で3年以上の実務経験のある方
講習の理解・習得のために推奨される知識・技術	Windows及びLinuxサーバ・クライアント、ネットワーク、マルウェア対策、ログ分析、などの専門知識
技術・知識の到達度の把握・測定方法	・ 演習環境上の社内ネットワークへのサイバー攻撃に対して、何割対応できたか。（チーム評価） ・ 演習環境上のITシステムに障害が発生した際に、復旧までの所要時間の程度。（チーム評価） ・ チーム演習時に設定された役割(リーダー、ネットワークシステム担当等)の遂行度。（個人評価）
修了認定の判断基準	・ 出席率が70%を超えること。 ・ 演習・訓練におけるインシデント対応において、予め設定されたチェック項目に基づく進捗度が70%を超えること。 ・ 知識や技術習熟度に関しては、講師が総合的な判定を行う。
修了認定基準に満たない受講者への措置	・ 知識や技能習熟度が判定基準に達しない受講者は、再受講(有償)。
受講者に対するサポート体制	受講生10名程度ごとに講師を1名常駐させ、受講状況を目視にて監視する。 サイバーレンジ訓練時には受講生の手元画面をモニターすることで進捗を把握し、適切なサポートを行う。
講習実施施設所在地	東京都新宿区市谷田町1-14-1　（DNP市谷田町ビル内）
ホームページ	https://www.dnp.co.jp/cka/course/cirm-practical-training01.html